

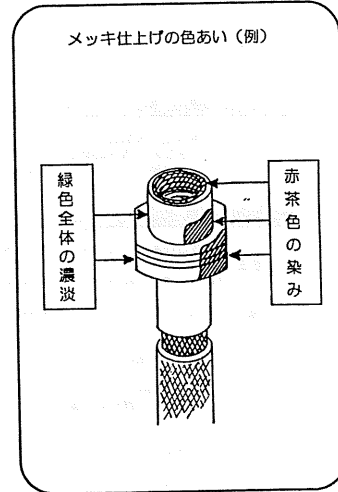
☆必ずお読み下さい☆

ご注意

◎メッキ仕上げの色あいについて

① 当製品のスチールフィッティングは、一般の輸入品(主にユニクロメッキ仕上げで銀色)とは違い、サビに強いオリーブクロメートメッキ仕上げを採用しているため緑色をしています。生産ロットにより、この緑色全体の濃淡など違いがありますが、品質は同一で全く問題はありません。

② また、ネジ部やカドの有る部分、表面などに赤茶色の染み状の模様が付着している場合がありますが、これはメッキ工程のクロム溶液の跡で、赤サビなどではありません。サビに対する耐久性も同一で全く心配がありませんので、安心してご使用下さい。



重要 取り付ける前に必ずお読み下さい。

ここに記されている以下の項目は、トラブルを未然に防ぎ本製品を安全にお使い頂きたい事項を示しています。内容を理解した上で作業を行って下さい。

社外サスペンションキット、スプリング、ピロアッパー等をご使用のお客様へ

警告 当製品は、ノーマルストラットを基準にデーター取りを行っておりますので、ストラット形状が変更されている場合は、ブレーキラインがストラットや補機類に干渉する恐れがありますので、十分に注意して下さい。

警告 サスペンションのブレーキホースブラケット位置(キリカキ・形状)が変更されている場合は、ブレーキラインのねじれ、補機類への干渉といったトラブルが発生する恐れがあり、取り付けできない可能性があります。

ブレーキホースブラケット



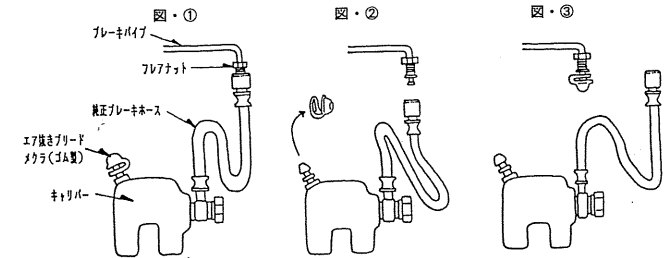
警告 車高が極端に変更されている車両(法定最低地上高以下)で一般公道を走行すると、トラブルが発生する恐れがありますので絶対にお止め下さい。

警告 ノーマルを基準にデーター取りを行っておりますので、ピロアッパーマウント等を使用して極端にアライメントの変更をした場合、ブレーキラインが補機類等に干渉する恐れがありますので、十分に注意してください。

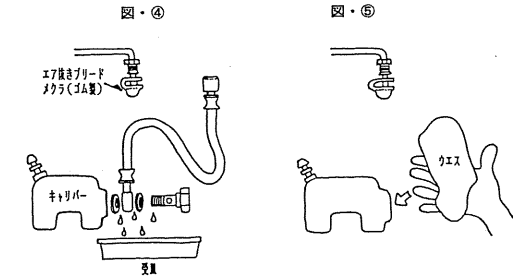
オートエクゼブレーキライン取付け&エア抜き補足マニュアル

オートエクゼブレーキラインを取付ける際に必要となるブレーキフルードのエア抜き作業について、今まで経験からより安全に早く足廻りを汚さずに完了させる方法として、当社で行っている作業を御紹介いたします。要約すると、マスターシリンダーから各ブレーキパイプ(ABS、ブレーキアシスト機構を含む)内のブレーキフルードにエアを入れないように、なるべくブレーキフルードを減らさない方法を取るといっていますが、具体的な例で解説します。

- 1. 純正ブレーキホースは一度に全ての本数を外さずに、1本ずつオートエクゼブレーキラインと交換します。
2. まず、純正ブレーキホースのボディ側ブレーキパイプのフレアナットを外し(図・①)、エア抜きブリードのめくら(ゴム製)を素早くブレーキパイプの先端に被せて(図・②・③)、ブレーキフルードの漏れを防ぎます。

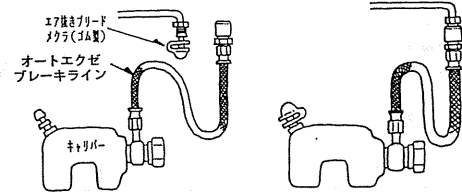


- 3. 次に純正ブレーキホースのキャリパー側を外します(図・④)。ブレーキホース内にフルードが残っていますので受皿を用意して下さい。キャリパー側の取付け部分を清掃して下さい。(図・⑤)



- 4. オートエクゼブレーキラインのキャリパー側を取付けます(図・⑥)。次にボディ側ブレーキパイプの先端に被せてあるエア抜きブリードのめくらを外し、オートエクゼブレーキラインを素早く取付けます(図・⑦)。この時、手で締められる所まで締め、後に専用工具で増締めします。そして、全体をブレーキクリーナーで洗浄し、めくらをエア抜きブリードに戻します。

図・⑥ 図・⑦



- 5. 以上の作業を全ての本数について同様に行ってください。その後、全輪でエア抜きを行えば全ての作業が完了します。車種によってブレーキホースの形状、取付け方法は異なりますが、この例に準じた方法で作業をして下さい。この方法でブレーキホースの取付けを行うと、ブレーキフルードの抜けが極少量で済むため、ブレーキ機構全体にエアが入る事が無く、エア抜き作業時間が大幅に短縮され、安全な作業ができます。

- 6. ブレーキフルードを交換する際は、前項までの作業を全て終了してから行って下さい。

Auto Exe INC

装着後の取扱いについて

- 日常点検について 法律で定められている日常点検を随時して下さい。
交換推奨時期 純正ブレーキホース交換指定時期は初回5年、その後4年ごととなっております。
メンテナンス ブレーキフルードの液量、汚れ、漏れ等を定期的に点検して下さい。ブレーキフルード交換推奨時期は2年です。(DOT5を除く)凍結防止剤を散布する場所では腐食が著しい場合がありますので走行後は必ず洗浄して下さい。
ブレーキ警告灯 通常はパーキングブレーキ戻し忘れ警告灯ですが、走行中点灯した場合は、ブレーキフルードの液量が極端に減少した事を示しますので、走行をやめ安全な場所に停止し、必ずブレーキフルードの残量、漏れ等を確認して下さい。

お願い

- オートエクゼブレーキラインの交換は、認定整備工場等の資格のある場所で行って下さい。
オートエクゼブレーキラインは、用途に合わせた消耗品です。日常点検を行い、フルード漏れや取り付け部の緩み及びワッシャーの劣化、損傷の症状が発生した場合は、そのまま走行せずに新品と交換して下さい。
一般通常の条件において使用された場合、経年変化による外傷、機能上のクレームについては応じかねますので予めご了承下さい。また、レース、ラリー等の競技に使用した場合のクレームには応じられません。取り付け上の不備、日常点検を怠り発生した破壊事故等については当社は一切の責任を負いません。

御不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせ下さい。



株式会社 オートエクゼ
〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1
TEL 03 (3531) 8151・FAX 03 (3531) 8152
http://www.autoexe.co.jp

